

GWI (IFUW) Update 2016年1月6日号

「暴力からの女性の保護」 パキスタン・パンジャブ州の教科書に載る

今年パンジャブ州に設立された「女性暴力対策センター」は、取組み中の対女性暴力という不正義を減らすキャンペーンにさらなる成功を加えた。彼らの提唱活動を受けてパンジャブ州の教育当局が、この問題をカリキュラムに盛り込むという画期的な一歩を踏み出したのだ。この決定は、世界的な取組みである、[16 Days of Activism Against Gender-Based Violence Campaign](#)と軌を一にする。GWIは、初等レベルから最高レベルの教育機関までの「学校への道を安全に」(*注 イスタンブール総会決議) 保つことと、カリキュラムに男女の別なくジェンダー平等教育が実施されることを提唱している。

GWI (IFUW) Update 2016年1月13日号

「ICT とポスト 2015 教育に関する国際会議」報告書が出される：「ポスト 2015 の教育目標達成に向けて ICT にテコ入れを」

2015年5月23日～25日青島(チンタオ)で開催された標題の会議にはGWIも出席したが、その報告書がこのほど公開された。[Leveraging Information and Communication Technologies](#)。GWIは、[チンタオ決議の起草過程](#)で資料提供を行い、GWI常任理事Daniele Castleは会期中のセミナー[Women in ICT](#)(ICT分野における女性)でパネリストを務めた。GWIは、教育におけるICTの効果的活用を、より多くの情報へのアクセスを通して教師と生徒の能力を高める道具として、またより多くの女兒がICTを学ぶよう奨励することでSTEM(科学・技術・工学・数学)分野の多様化を促進するものとして、提唱している。GWIの、女兒と女性のための革新的教育についての声明書は[こちら](#)。

GWI (IFUW) Update 2016年1月20日号

2016年 GWI 第32回世界大会、3年に一度の大会に興味深いプログラム具体化進む

[ケープタウンでの8月24日-25日のGWI世界大会のプログラム](#)が、具体化しつつある。「教育と、ジェンダー、人権の十字路」を大会テーマに、次の4つの基軸を焦点に議論することになる。a) 教育の諸課題の処理、b) ニューテクノロジーの中等・高等・生涯教育への影響、c) 人権と教育—10代から大人までの教育と実生活に於いて—、d) 女兒と女性の教育へのアクセス。参加者は、多くの興味深い主題のパネルディスカッション、例えばInternational Telecommunication Unionに属する発言者らが語るインターネット上でのいじめや嫌がらせについて、あるいはビジネスとリーダーシップ教育についてなど、が選択可能である。登録と詳細情報は[こちら](#)。早割適用期間中。

GWI (IFUW) Update 2016年1月27日号

GWI、Orange Device グループとの共同開発を発表

GWIは、新たにOrange Deviceグループと、携帯のアプリを共同開発し、ルワンダで利用を開始し、他の国々へも広めていくことを発表した。このアプリを使うと、女兒らが因習的に制限のあるこれまでの限界を越えて人生の可能性を探求する能力をつけられる教材が、直ぐに容易に手に入る。ルワンダでは、初等・中等教育の就学率はジェンダー間で近年かなり同等になってきているが、ジェンダー平等を達成する障害はいまだ現存する。社会規範や、性役割とスティグマ(烙印・決めつけ)が、女兒の学校内外で業績を上げる妨げとなっている。このアプリは、ルワンダ以外の国でも適用可能な柔軟性を備えている。GWIによる報道発表全文は[こちら](#)。